

熱水性細菌由来のネイティブピルビン酸脱炭酸酵素

Cat. No. NATE-1159

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ピルビン酸デカルボキシラーゼ（PDC）は、細胞質内でピルビン酸をアセトアルデヒドと二酸化炭素に脱炭酸する触媒作用を持つホモテトラマー酵素です。ピルビン酸デカルボキシラーゼは、補因子であるチアミンピロリン酸（TPP）とマグネシウムに依存しています。PDCは β - α - β 構造を持ち、平行な β シートを形成します。

用途 C-C結合形成: 2-ヒドロキシケトンへの2つのアルデヒド分子のエナンチオ選択的なリガーショ
ン; (R)-フェニルアセチルカルピノール（PAC）の調製

別名 ピルビン酸デカルボキシラーゼ; EC 4.1.1.1; α -カルボキシラーゼ（あいまい）; ピルビン酸デカルボキシラーゼ; α -ケト酸カルボキシラーゼ; 2-オキソ酸カルボキシーリラーゼ; 9001-04-1; 2-オキソ酸カルボキシーリラーゼ; PDC

製品情報

由来 好熱性細菌

形態 凍結液体

EC番号 EC 4.1.1.1

CAS登録番号 9001-04-1

最適pH 6

熱安定性 50°Cで1時間後の100%の安定性

緩衝液 20 mM トリス-HCl (pH 7.5)、20 mM KCl

単位定義 1ユニットは、ピルビン酸を基質として使用し、1分間に1 μ molのNADH（ ϵ 340=6.22 mM⁻¹cm⁻¹）を酸化する酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 -20°Cで保管してください